



第149号 2019年9月

発行：萩ネットワーク協会

〒758-8555 山口県萩市大字江向 510 萩市役所広報課内

TEL 0838・25・3178 FAX 0838・26・5458

MAIL hagi-network@city.hagi.lg.jp

主な内容

古民家わいわい萩暮らし（後編）	P4・5
ズームアップ 林杏奈さん（東京都）	P6
道の駅・萩往還、萩しーまーと通信 最終回	P7
夢追人 ヨシダキカク代表 吉田知弘さん（萩市）	P8
夢追人 焼き菓子とクレープの店（萩市）	P9
萩の産業遺産を歩く（11）最終回	P10

藩の城下町は、阿武川の河口部に形成された三角州に築かれた。三角州の形成にはマグマの活動が深くかかわっている。東へ30^{キロ}離れた阿東町と津和野町の境付近で、数十万年前から相次いで火山が噴火、巨大な湖がつくられた。湖が決壊し、水が北へ向かって流れ出し、溪谷をつくって、日本海へ注ぐ。

溪谷が長門峡、河口域に砂や泥が堆積してできた陸地（湿地）が萩の三角州。萩城に近く海拔が高い砂丘上に武家屋敷や町人地を築き、中央部の低湿地は田畑として利用、阿武川の氾濫の際には遊水地として機能した。

（萩ものがたり 63「萩ジオパーク入門」から）

萩の三角州 成り立ちはマグマの活動



ITベンチャー企業 株式会社Phone Appliが、 萩・明倫学舎にサテライトオフィス進出

IT関連企業である、株式会社Phone Appli(フォンアプリ)が、萩・明倫学舎本館2階の一室に、地元採用を中心とし、アプリケーションの開発エンジニアの育成を目指すサテライトオフィス「萩明倫館 アプリ開発センター」を来月4月に開設します。開設にあたり、山口県立会いの元、萩市との進出に関する協定調印式を、6月27日に萩・明倫学舎で行いました。

■フォンアプリ

(株)Phone Appli(2008年創業、本社東京)は、クラウド型Web電話帳サービスの市場シェアNo.1という事業実績に加え、事業拡大を支えるために、自社の働き方改革を積極的に進めています。



時間や場所にとらわれない「テレワーク」や、それに伴うIT機器や社内ルールの確立、また最先端のオフィス環境を合わせて整えることで、「働き方改革のリーダーカンパニー」として、業界を先導する存在として注目されています。また、18年にはNTTコミュニケーションズとの連結子会社となり、経営基盤を強化。

一方で、IT業界全体の拡大に伴い、都市部においては、IT人材不足が問題となっており、同社にとっても喫緊の課題として、海外及び国内の地方に人材を求める中、萩を2年前に視察。その人材輩出の歴史・文化的経緯に感銘を受けられるとともに、市内高卒社会人の質の高さにふれ、今回の進出が決まりました。

■アプリ開発センター

「萩・明倫館 アプリ開発センター」は、そのノウハウを生かし、グローバルで活躍できる人材の育成と、地方でのIT企業へ、年間6〜10名、中期目標50名規模の就業機会を創出します。またIT関連ビジネスの創造のため、株式会社セールスフォース・ドットコム

社が提供する「誰もが平等に学び活躍できる人財開発プログラム」を全面的に採用し、「アプリケーション開発者の人財育成を短期間で行ってまいります。」

さらに、自社採用予定者の枠にとらわれず、地元の若者が抱える都心との機会格差といった弊害などをなくし、誰もが質の高い教育を平等に受け、働いていくことを支援し、将来的には、地方からグローバルに販売できるアプリケーション開発を担えるような人材の輩出を目的に公益的な事業も同拠点にて展開予定としています。

萩市は、今後IT人材が、IT産業以外の業種にも必要となることを見据え、人財育成・地域への啓発等を積極的に行うことで、IT関連企業サテライトオフィスの更なる誘致推進や、地元高校生・UJイーターナーの定住促進を期待しています。



萩明倫館アプリ開発センターイメージ図

萩・食の祭典2019 参加者募集

熊谷喜八シェフプロデュース

萩食ビュッフェ&

BBQ

萩の食とお酒のあまい夜

HAGI

たまちテーブル

萩ふるさと大使である熊谷喜八氏(KIHACHI創業者)と奥田政行氏(「アル・ケッチャーノ」オーナーシェフ)による、萩の食材を活用した、30品目を超えるビュッフェとバーベキューをお楽しみいただけるイベントです。

■日時 9月16日(日・祝)
正午〜午後3時

■場所 道の駅萩しーまーと横駐車場(雨天の場合は、萩・田町商店街)

■定員 200人程度(先着順、要事前申込)

■料金 5000円(ワンドリンク付)

■申込方法 インターネット申込フォーム、電話、メール、FAX、郵送、萩市企画政策課窓口

■支払方法 現金支払(窓口のみ)、現金書留、口座振込



申込フォーム



熊谷喜八氏



奥田政行氏



中学生から大人までの
社会・産業人材育成塾
「熱中小学校萩明倫館」
10月開校予定



10月19日(土)、全国で12校目となる「熱中小学校萩明倫館」が開校します。

熱中小学校とは

2015年10月に、山形県高畠町で廃校活用策として始まった、地域を元気にする人材育成の場(学生・大人の社会塾)。

毎月1回の各界の一流講師による個性的な授業をきっかけに、さまざまな交流や活動を地域に育んでいきます。

市内外の方々に継続的な学びの機会を提供すると同時に、外部人材との交流を進め、起業や創業、社会貢献など多様な分野で活躍でき、地域の担い手となる人材の輩出を目指します。

- 校長 鈴木寛(東京大学・慶應義塾大学教授)
- 教頭 井上伊三郎(株式会社井上商店会長)、田子みどり(株式会社コスモピア代表取締役社長)
- 問い合わせ 萩市産業戦略室 (08388-21-33351)

※詳しくは萩市HPをご覧ください。



「第17回全国藩校サミット萩大会」開催 皆様のご厚志(協賛金・寄付金)を募集します。

今年、萩藩校明倫館が創建して300年という節目の年です。その記念事業として、全国から旧藩主のご子孫の方々が一堂に会する「全国藩校サミット萩大会」(実行委員会委員長 毛利元敦・毛利報公会長)を11月30日(土)に、萩市民館で開催します。

実行委員会では、本サミットの成功に向けて、皆さんからの協賛金や寄付金を募集します。

- 原則1口1万円から受付(企業・団体の方は、5口から)
- 特典(金額に応じた特典を提供)
- 大会広報制作物、記念冊子への掲載
- 会場等に掲示するパネル等への掲載

- 記念品(令和の萩焼杯など)
- 申込方法 萩市HPからダウンロードした申込用紙に記入のうえ、FAXまたは郵送
- ◆問い合わせ 実行委員会事務局(萩・明倫学舎推進課内) (0838-25-3569)



■全国藩校サミット萩大会の概要
全国藩校サミットは、日本の経済界、教育界の有志が中心となって設立された漢字文化振興協会が主催し、全国の藩校関係者間の学術文化交流を通じて、漢字文化を後代に伝え受け継いでいくことを基本理念として平成14年以降、全国各地で開催されてきました。

この萩大会では、関係各位の皆さんとともに歴史を紐解き、萩の明倫館をはじめ、各地の藩校教育が生み出した優れた人々に思いを致し、萩の将来のひとづくりにつなげていきます。

- とき 令和元年11月30日(土) 午後2時~5時
- ところ 萩市民館大ホール
- 主な内容

全国から萩に集結した旧藩主のご子孫による藩主会議、全国の藩校関係者による藩校会議、須佐育英塾の子どもたちによる論語素読、明倫小学校児童による松陰先生の朗唱、萩光塩学院高校生の書道パフォーマンス、参加藩(当主紹介、記念講演会(東京大学史料編纂所教授 本郷和人氏) ほか



旧明倫小学校3・4号棟の整備に係るクラウドファンディングを開始!

旧明倫小学校3・4号棟の整備に係る「一般寄付」、「ふるさと寄付」を現在募集中ですが、9月中旬からREADYFOR株式会社(東京都文京区)のサイトを活用し、クラウドファンディングを開始します。

クラウドファンディングは萩市初の試みで、インターネットで寄付の申込みができ、クレジットカード決済による寄付手続きも可能です。

寄付者には「寄付受領証明書」や「ワンストップ特例申請書」を発行いたしますので、税金の控除を受けることができます。

- 対象者 市内外の個人
- 募集期間 9月17日から90日間(予定)



■申込方法 インターネットでREADYFORのクラウドファンディングサイトを検索し、お申込みください。(「明倫クラウドファンディング」でもサイトが表示されます)

支払方法はクレジットカード、銀行振込のどちらかをお選びいただけます。

■その他 寄付金額に応じて、旧明倫小学校を整備する過程で生じた廃材を使用した記念品などを、後日お届けします。

明倫小学校卒業生やその関係者の方々、そして萩市を愛する皆様のご協力をよろしく願います。

- 問い合わせ 萩市産業戦略室 (08388-21-33351)

古民家わいわい

愛知県から2年前に大井地区へUターン

大井

中村家

陽介さん、ひとみさん、
ひなた 陽向ちゃん、みそら 美空ちゃん、まる（愛犬）

- ◎暮らす前のイメージ
 - ・DIYが楽しみでワクワク
 - ・子どもが走り回れる
 - ・犬が飼いたい
- ◎暮らし始めての実感
 - ・すごく変わって、良い家になった
 - ・想定外に暑い
 - ・ビックリするほど大きな虫が多い



「これは、直せる。」
2017年6月末に紫福のUターン促進住宅に引っ越し、一家4人のDIYが始まりました。これまでに本を読んだ程度で、工事の経験はありません。床の基礎、窓枠は大工さんと一緒に作業。水回りの設置は業者に頼み、壁や床は全て自分たちで4カ月間の工事とDIYを経て引っ越すことができました。



天井も壁も取り払ったワンフロア。子どもたちがハンモックブランコで楽しそうに遊んでいます

中村家の暮らしは「素潜り漁師！陽美丸のブログ」で<https://ameblo.jp/42740630/>

ウニやサザエの殻が積まれた台車を運ぶ中村陽介さん。素潜り漁師をしています。中村さん一家が、愛知県知多半島から移住してきたのは2年前。インターネットで移住先を探していると、山と畑がついて50万円という大井の古民家が目にとまりました。さらに「空き家改修費補助金」など補助が手厚いことにひかれ、旅行がてら来てみると、すぐに気に入りました。古民家を見に行ったら、蕨かはい、壁もなくボロボロ。それを見て思

いたこともあり、近所の人の紹介で漁協に相談するとトントン拍子で話が進みました。引退した漁師の船を譲ってもらい、今ではほぼ素潜り漁一本で生計を立てています。素潜り漁の仕事は、最初の1年が厳しいのだそう。実践しながら技を習得し、そこを乗り越えようと道が見えてきます。陽介さんの属する大井漁協は高齢化が進み、若手は40代か2人だけ。この地で漁師になる若者が増えてほしいと願っています。「好きな海に行けて、やっただけ収入になる。人間関係の煩わしさもない。ストレスフリーで楽しい」と語る中村さんご夫妻。その一日は、陽介さんが朝7時に家を出て8時から潜り、13時に帰宅、ひとみさんが板ウニを作る作業などをして、17時には終わるといふ流れ。夫婦二人三脚の仕事でも、喧嘩することはないそうです。

古民家の改装に活用したいサポート制度



萩市地域づくり推進課 鉤物佳代子さん

萩市空き家情報バンクの登録物件に居住される場合、改修費や家賃の一部を補助します！対象は、18歳以下のお子さまがいらっしゃる世帯、または世帯主が49歳以下の方など。詳しくは、お気軽にお問い合わせください。

【お問い合わせ】TEL 0838・25・3360（地域づくり推進課）

- 空き家改修費補助金
改修費のうち、対象経費の2分の1から3分の2以内を補助（地域により異なる）。18歳以下の子ども1人につき50万円加算。最大200万円。
- 空き家家賃補助金
家賃の2分の1を補助。月額上限2万円（地域により異なる）。18歳以下の子ども1人につき5000円加算。最長2年間。

後編

萩で暮らす場所とします。前号に続き、その改装をすべて手がけ移築&Uターンしたりをお聞きしました。



福栄

中村家 たかし 孝敏さん、あつこ 篤子さん

京都府から4年前に福栄地域へヒターフ

帰省中だった娘さんとお孫さんも一緒に。子どもたちのために、ブランコや滑り台も孝敏さんが自作したそう

◎暮らす前のイメージ

- ・木の温もりを大事にしたい
- ・人との交流が生まれる場に！
- ・暑さと寒さはどれくらい？

◎暮らし始めての実感

- ・夫婦や兄弟の夢が叶った
- ・DIY が思いっきり楽しめる
- ・引き戸の使い勝手が好き

開放的な吹き抜けが心地良い生活の場と、玄関を挟んだ向こうに広がる日本家屋の4間。広さを目を見張る中村さん宅は、造りが少しユニークです。「実は、吹き抜けのあるこちらは納屋だったんです。畳の和室が広がるあちらの棟が、旧来の母屋。別棟だったのを、移築してつなげたんです」。教えてくれたのは、DIY が得意で、自ら設計図を引いた孝敏さん。帰郷を考えていた6年前、6人兄弟の一番上で林業を営む兄から「むつみ地域に、仕事で関わった空き家がある」と紹介されました。現場を見に行く、明治期に建てられた家は屋根が崩れボロボロでしたが、良質の木を使った大きな梁を見て、移築を即決。大工と左官の職人さんに孝敏さんとお兄さん2人も加わり、2014年4月に解体を始め、翌年5月、福栄地域の実家の隣に完成しました。

家づくりに対して、妻の篤子さんと大事にしたのは、古民家ならではの木の温もりと、訪れる人の居心地良さ。そして、長兄への思い。孝敏さんが子どもの頃、20歳離れた兄は親代わりでもあり大好きだったけれど、就職の関係で一緒に暮らした時間は長くなかったとか。「50年前、いつか兄弟で住める家を...と話していたんです」。長く林業に携わってきた兄の「良い木で大きな家をつくりたい」という夢もあり、「この家は、みんなの希望がかなった」とご夫妻ともに満面の笑みでした。

最近では篤子さんの企画により、一般の人を招いてオカリナコンサートを開くなど人の交流が生まれています。「家が喜ぶだろうなと思ってただんだけど、お兄さんも『建てた甲斐がある』と喜んでくれて」と話す篤子さん。古タンヌや萩焼など和のしつらえが落ち着く日本家屋の間で、インバウンド農泊の受入も始めています。



リビングは吹き抜けになっていて、2階から様子を見渡せます。梁の風合いが、古民家の歴史を物語ります

明治中期築の商家で、お試し暮らし！

江戸時代に開かれた港町として、風情ある町並みが残る浜崎地区。国の重要伝統的建造物群保存地区にも選定されるその一画で、萩暮らしが体験できます。文化財の梅屋七兵衛（うめやしちべえ）旧宅を活用したもので、移住や地域間交流だけでなく、サテライトオフィスを検討している人にもおすすめ。



「#梅ちゃんち」
住所 | 萩市浜崎町 257
間取り | 3DK
期間 | 1～4週間
料金 | 1週間1組 7000円
※1泊追加ごとに1000円
家電、Wi-Fi、駐車場、自転車あり

【お問い合わせ】TEL 0838・25・3360（地域づくり推進課）

萩暮らし

古民家に魅力を感じ、て選ぶ人が増えていんな2組をご紹介します。た漁家のご家族と、ご夫婦に、暮らしぶ

東京と萩（須佐）の2拠点で美容業（ヘアサロン）

林 杏奈さん

あんな

（萩市須佐出身、東京都在住、萩高校平成15年卒、34歳）



サロンワークでは有難いことにお客さまや地元・萩の皆さまに支えられて開業できております。

若い方にもご来店いただいた際、とても可愛らしいお顔を自分の持つメイク技術やカットにより、容姿が変わることで自信を持ち、また、東京との2拠点により見聞きした体験など話をするたびに、美容だけでなく視野が広がることで輝くその表情は、学生時代に憧れを抱いた自分と重なり、少しずつ恩返しができていくことに喜びを感じています。

また、世界遺産などの風景を背景に写真を撮影すると萩市の持つ地域の魅力に改めて気付かされます。

東京と2拠点を決意したのは、美容業界は新しいモノやサービス、技法など、東京と地方では情報の鮮度や入手しやすさが全然違うためです。

独立する前、帰省した際、最新アイテムや技法を持ち帰って地元の方に届けていましたが、皆さん

とても美意識が高く、大変喜び関心を持たれましたが、関心を持つても最新のメイク方法を教わる場がない、メイク道具を揃えたり、その情報を得たりする環境がないことで、美容熱が冷めてしまう方も少なくありませんでした。

本当は、最新のメイクや新しい商品を使いたいという願望があるにも関わらず、地方だから諦めよう、とならないよう私が東京と山口を行き来することで、環境のギャップを埋めることができるのではないかと考えました。

美容福祉によって美しく、あり続ける街へ

幼少期より高齢者の方々と触れ合う機会も多かったことから、美容による福祉活動を実践してきました。

現在も美容福祉を萩でもお声掛けいただいた際に取り組んでいますが、今後、美容福祉のあり方や考え方として目指しているものは、美しさです。

お洒落を心から楽しめるものは少ないです。それももちろん重要ですが、施設でも美しくいるということは嬉しいことで、実際にヘアメイクで喜ばれる姿をみると、歳を重ねても綺麗でいたいという想いは多くの女性が願っていることだと感じました。

自分の祖母もそうですが、何歳になってもどこにいても、女性である喜びを感じて楽しむことで、元気になってもらいたいと考えるいます。

今後も地域貢献として「美容の力で高齢者の方に喜んでいただくお手伝いがしたい」と考えており、医療や介護など高齢者の多い現場を応援する力となればと考えております。

プロフィール

東京・山野美容専門学校卒、原宿のサロン1店舗を経て、代々木の「anna HAIR」に入社。

2017年に独立し、現在フリーランスで活動中。現在は、東京をベースに、月の1週間を山口でサロンワークとメイクレッスンをを行う2拠点で活動をしている。また、高齢者施設でカットなどを行う訪問美容というスタイルで、美容と福祉をつなぐ活動も行っている。

問い合わせ

9annalayashi2@gmail.com

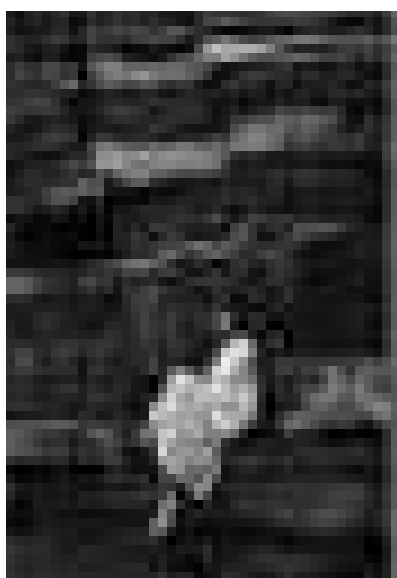
初めまして、東京と萩の2拠点で美容業「anna HAIR」を営んでおります林 杏奈と申します。私は旧須佐町で生まれ、萩高等学校を卒業後に東京の山野美容専門学校へ進学。都内サロン1店舗を経た後に、いまもお世話になっている美容室と合わせて約14年間勤務した後、2年前に独立いたしました。

現在は、萩にいた学生時代から感じていた美容への憧れや希望、そして、とてもお洒落な祖母の影響で、従業員として働いていた頃から、地元「須佐湾花火大会」でのアレンジサロンなどの限定オープン、高齢者支援施設のカットやヘアメイク活動など美容福祉活動にも取り組んできました。

現在取り組んでいる「2拠点を活かした美容提案」は、月に1回という頻度で、場所は面貸しという形態にも関わらず、萩における

美容師を目指すきっかけ、2拠点でサロンワーク

私自身が美容師を志したきっかけ



須佐ホルンフェルスでのモデルカット

東京でも訪問美容サービスを行っていますが、高齢者施設等でされているものは、多くの場合は、美容というよりも理髪であり、

菜々色マルシエ通信「梨」

萩小川と阿武町福賀

お盆を過ぎ、梨が店頭に並ぶとともに次第に高まる秋の気配。萩近郊の梨産地といえ、萩小川と阿武町福賀。これから11月頃まで、たくさん梨が入荷します。

梨の品種はその果皮の色から「赤梨」と「青梨」に大別されます。それぞれ食味や食感が異なり、好みもはっきりと分かれる赤梨と青梨。おすすめの品種をご紹介します。

赤梨「南水」

強い甘味と後に広がる芳醇な香りが特徴の「赤梨」。9月に入ると「幸水」、続いて「豊水」と品種のリレーが始まりますが、中でも人気が高いのは10月頃から入荷する阿武町福賀産の「南水」です。赤梨は青梨と比べ、果肉が柔らかいことが多いですが、「南水」は比較的果肉が硬めで日保ちも良いのが特徴。その品質の高さから「福賀の南水」の名前で農産物のやまぐちブランドにも認定されており、ご贈答にもおすすめです。

青梨「二十世紀」

シャリシャリの食感と、甘味と酸味のバランスが取れたみずみずしい果汁が爽やかな「青梨」。代表品種の「二十世紀」は、「昔はこれしかなかったのよ」と懐かしむ方も多く、萩近郊で昔から親しまれてきた梨の品種です。

収穫時に黄緑色の果皮は、だんだん黄色くなってきます。この黄緑色と黄色が虎の模様のようにまだらに入るタイミング。この状態は「虎熟れ」と呼ばれ、甘みと酸味のバランスが最高に整った食べ頃のサインです。

道の駅萩往還

(08388・22・9889)

全国発送いたします。

WEB「道の駅萩往還」で検索



道の駅・萩しーまーと通信 旬の水産物「萩で親しまれてきた貝」②

今回は、アワビとサザエ、バイ貝をご紹介します。前号(7月号)で二ナ、タカノツメ、嫁の皿を紹介。

萩の貝その4「アワビ」

萩では、クロアワビ・メガイアワビ・マダカアワビの種類が水揚げされ、高級貝として知られています。萩沖の海岸沿いや島の周辺で水揚げされ、かつて見島で殻の長さ24センチという巨大なアワビが見つかったこともあります。

アワビの旬は成熟してくる夏場。刺身、酒蒸し、煮貝が代表的な料理法です。身がしまつてかたいクロアワビ、メガイアワビは刺身に。マダカアワビなどは身が柔らかいため、蒸す料理やバターソテーがお勧めです。

萩の貝その5「サザエ」

萩のサザエ漁獲量は全国トップクラス。萩沖の島周辺で海士が潜水して採取しています。サザエの寿命は7〜8年で、殻の高さは大きなもので15センチほど。特に見島や大島産は大きなサイズのものも水揚げされます。サザエは角が大きいものほど荒波で育ち、角が小さなものや角がないものは穏やかな海で育つたものと言われています。萩では鮮度の良さを活かした刺

萩の貝その6「バイ貝」

身が好まれます。また、つぼ焼きも身のおいしさと少し苦みを感じる肝のおいしさがクセになります。

漁の方法は「かご漁」で、かご

の中にサバなどの餌をしかけて水深200〜700メートルの海底に沈めます。かごをあげると中にバイ貝が入っています。3日ほどかけて漁が行われ、萩の港に戻ってきた船には箱の中に丁寧に水詰めされたバイ貝が積まれています。

刺身、塩焼き、バター焼き、貝飯にして食べます。

道の駅 萩しーまーと (08388・24・4937)

WEB「萩しーまーと」で検索



アワビ



サザエ



バイ貝

今号をもちまして、「菜々色マルシエ通信」「萩しーまーと通信」は最終回となります。短い間でしたが、ご精読ありがとうございました。

吉田 知弘さん

ともひろ
岡山県出身、萩市在住、40歳



地域の課題を、地域の人と話しあいながら解決していく

2016年12月から萩市地域おこし協力隊として勤め、18年にはイベント企画運営を手がける「ヨシダキカク」を立ち上げ、市内で数々の新しいイベントを企画し、今年5月からは「萩市インキュベーションセンター／山口大学サテライトラボ」の指定管理業務を受託するなど、地域に根付いた事業に取り組み、これぞ地域おこし協力隊と言える活躍をみせる吉田知弘さんにお話を聞きました。

いくつかの地域を訪れて

観光地で有名な岡山県倉敷市の中でも、国産ジーンズの発祥の地であり、現在ではジーンズの聖地として注目されている児島で生を享けました。その後、岡山市の中高一貫の学校に通い、大学はお隣兵庫県の関西学院大学に進学します。大学卒業後はアパレル会社に入社し、販売や国外買付けを担当していました。その後、脱サラ

し、北アルプスの山小屋や、利尻島のホテルで働いたりして、知見を広げるといふか、自らの興味心に従って生活をしてきました。

地域おこし協力隊に応募するきっかけとなったのは、そのようにいくつかの地域に住み、働くにつれ、地域それぞれに課題があり、その課題を地域の人たちと話しながら解決していくことは、とても重要なことだと感じるようになったからです。

そうして、長野県駒ヶ根市や京都府伊根町、その他徳島県や高知県など、当時地域おこし協力隊を募集しているところで友人が勧めてくれるところを見て回り、一度は駒ヶ根市で内定をもらっていたのですが、地域で人が集まっているところがないと感じ、何かを催すにはなかなか難しいのではなにかと辞退させていただきました。その矢先、萩市の募集を見つけ、16年5月萩に初めて訪れます。出会い、話をさせてもらった方々の印象がとても良く、当初は2泊の予定でしたが結局4泊もし、萩から家に戻ってすぐ応募させていただきました。

「ヨシダキカク」

16年12月、萩市地域おこし協力隊に就きました。自治体から任せられる業務を行いながら、任期を終えた後、この地で生活していく

基盤を構築していくことも、地域おこし協力隊に課せられた大きな使命です。

その取り組みの一つとして、昨年からは運営している「ヨシダキカク」があります。萩夏みかんまつりのマルシェや萩・竹灯路物語での「ちるバル」などを企画しましたが、これらは、萩で集まる思いのある人たちの「こんなことをやってほしい」、「こんなことができればいいな」という声を形にしたものです。この取り組みは、私の根幹にある「地域の課題を地域の人と話しあいながら解決していく」ともリンクしており、萩市には萩市を思い、意見をもっている人たちがたくさんいるのに、行動を起こすきっかけや場が少ないと感じ、思いのある人の後押しができればと活動しています。

指定管理と合わせて

とはいえ、ボランティアの延長線にあるヨシダキカクだけで生計を立てるのは難しく、ほかに何かできるものは模索していたところ、山口銀行萩支店浜崎出張所の跡地が「萩市インキュベーションセンター／山口大学サテライトラボ」となり、こちらの指定管理業者を公募していたので、応募し今年5月から管理業務を行っています。

この施設は、起業・創業を目指

す方を支援することと、山口大学の萩市をフィールドとした教育・研究活動を行う拠点であり、地元の方と起業家、大学生のつながりなどによって、新しい発想や活力などが生まれる場所として期待されています。目下、施設の管理を通じて、思いのある人と人をマッチングするなど、「コミュニティビジネス」を展開できればと考えています。そしてその先に、地域の方々と手を取り合いながら、話しあいながら、地域の問題を解決する、今までの萩にはない何かを創造できれば、と思います。

■ヨシダキカク

萩市江向165 B202
(080・1638・4450)

■萩市インキュベーションセンター／山口大学サテライトラボ
萩市大字浜崎町209番地
(0838・21・5022)





焼き菓子とクレープの店 クローバー

ふきあげよしゆき ゆきえ
吹上義幸さん 幸絵さん

生地が自慢のクローバー

「小学生からご年配の方まで幅広い方にお越しいただけています。連日来てくれる方も多いんですよ」と吹上幸絵さん。今年5月24日、念願の焼き菓子とクレープの店をオープンしました。

夢だったお菓子屋さん

小学生の頃からパティシエになるのが夢だった幸絵さん。高校は奈古高校の食品科へ、卒業後は大阪の辻製菓専門学校へ進学。山口市のケーキ店で勤めるなど、製菓一筋で生きてきました。ただ、お菓子を作るだけでなく、お客様の顔を見て販売をしたいという思いが強くなり、退職。萩に戻ると知人に紹介されて食べてみた障害福祉サービス事業所「なないろ」で作られているお菓子が美味しくて製菓サポートの仕事に転職。好きなお菓子が作れて、社会的な貢献もできることに魅力を感じたと言います。その後、義幸さんと出会い、結婚に至ったのです。



種類豊富な焼き菓子はギフトにも



人気のココアは、皮がパリッ

製菓未経験だった義幸さん

一方、お菓子のことなどは一切学ばず、市内の自動車整備工場に勤めていた義幸さん。幸絵さんの焼き菓子店オープンの夢を実現するために、2人でお店を営む方法を考えるようになりました。義幸さんは以前から好きだったクレープを候補に挙げ、動画共有サイトで専門店の動画を探していると神戸のクレープ屋「クレープハウスクレよん」が圧倒的に美味しそうだと感じ、幸絵さんとともに神戸へ。オーナーの中川さんに夫婦でお店をやりたいが、自分には何の経験もないということを相談。「ここで勉強していったらいい」と快く受け入れてもらうことができました。それから義幸さんは1カ月の修業のつもりで再び神戸へ。しかし、師匠の中川さんからは機械が変われば味も変わる。基本を押さえたら後は自分のやり方を見つけないといけない」と言われ、結局2週間の修業に。そこで生地の焼き方を徹底的に教え込まれ、温度や焼き方で違った食感が楽しめる生地ができました。

イトインスペースも検討

その後、開業の準備もテンポよく進み、義幸さんがクレープを作ると決意してから、半年ほどでお店のオープンに至りました。クレープの売れ行きはすぐぶる好調。平日でも1日180個、週末には250個近くのクレープが完売。「本当にびっくりしました。これだけみんなクレープを求めていたんだと分かると、お店を始めて良かったなと思います」と義幸さん。ただし、週末のピーク時には外で待たせしてしまうことも多いそう。今後はイトインスペースを設けることも検討しているといいます。念願の顔の見えるお菓子の製造・販売に幸絵さんも嬉しそうなお様子。店名には2人の名前の「幸」を取り、幸せを象徴する「クローバー」と名付けました。「焼き菓子やクレープでみんなに幸せのおすそ分けができればいいなと思います」。



生地をお楽しみ下さい!

■お問い合わせ

萩市土原174番地3
(0838)217307
FB <https://www.facebook.com/pg/cloveryandc/>

萩の産業遺産を歩く (十二) 最終回 夏みかん経済栽培発祥の地

道迫真吾 (萩博物館総括学芸員)

維新後に成功、夏みかん産業化

これまで十回にわたり「萩の産業遺産」をとりあげてきた。それは、幕末の長州萩藩が欧米列強の軍事的脅威に対抗するため、大砲や軍艦などの兵器生産を近代化(工業化)することを主目的としていた。それを達成すべく、萩の人々は自力での工業化に向けて努力をしたが、その大方は試行錯誤の段階に止まり、芳しい成果を上げたとはいえない。

今回は本連載を閉じるにあたって、これまでの論調を意図的に変え、明治維新後に産業化に成功し、萩を最も経済的に支えた夏みかん栽培をとりあげたい。その発祥の地は、現在、萩の五月の風物詩として定着している「萩・夏みかんまつり」の会場、旧田中別邸および「かんきつ公園」である。旧田中別邸といえは、第二十六代首相田中義一の別邸を指すが、田中の前の所有者は小幡高政であった。明治以降の萩のまちにとって「大恩人」といふべき小幡の生涯とともに、夏みかんの産業化の歴史とその意味を考えてみたい。

小幡高政、武士から起業家に 転身



小幡高政(松本二郎『小幡并山翁』より)

小幡高政は、幕末、萩町奉行ほか藩の様々な役職に就いて活躍した藩士である。江戸留守居役在任中の安政六年(一八五九)、評定所で吉田松陰に死罪が宣告される際、藩代表として立会したことで有名だ。

明治六年(一八七三)小倉県権令(現在の県知事に相当)に就任する。ところが、明治九年三月、老母危篤の急報を得て萩に帰省し、まもなく辞表を提出した。そしてこの年、小幡は夏みかんの経済的な栽培に着手する。今でいう起業家への転身である。数えて六十歳の時であった。

困窮士族対策だった夏みかん栽培

夏みかんは、江戸時代後期、萩

にもたらされ、複数の藩士や豪商熊谷家の宅地などに植えられた。ただし一家につき一、二本、自家消費用に植えられた程度であった。

明治以降、小幡高政はなぜ夏みかんの経済的な栽培を開始したのであろうか。それは、士族(旧藩士)の救済対策に起因する。明治四年に廃藩置県が断行されるや、藩が士族に支給していた家禄(給録)は明治政府が負担することになった。これは、政府財政の三割にも上ったといい、重荷になったことはいうまでもない。そこで政府は、明治九年に金禄公債証書発行条例を公布、華族・士族の秩禄を廃止した。これを秩禄処分といい、給録を生活の糧としてきた士族にとって大打撃となった。

この間、山口県では困窮士族を救済すべく、授産局を設置、士族授産結社として、明治八年に木綿聚社(賃製糸問屋)、明治十二年に保全社(桑園)、明治十三年に尚象社(陶磁器)・覇城会社(海上運送・造船)などが設立された。その一つが、明治九年に小幡高政が実兄祖式宗助、去戸某らの有志と図って結成した耐久社である。

萩にとって忘れがたい 明治九年

しばしば歴史に「もし」は禁物といわれる。だが、それを承知のうえであえて想像してみると、も

し明治九年に小幡が萩に帰ってこなかったら、夏みかんの経済栽培が始まらなかったわけであり、彼の人生はいわずもがな、萩地域の行く末もまったく異なった展開を見せたに相違ない。起死回生、萩の救世主といえるほどまでに、小幡の帰郷は大きな意味を持つ。

というのは、小幡が帰郷した明治九年十月、萩の乱が勃発しているからだ。萩の乱が、佐賀を皮切りに熊本・秋月などで起きた士族反乱の一つであることは周知の通りで、その最大のもは明治十年の西南戦争である。これらは士族の自殺的行為に等しい。先に見たように、秩禄処分などで士族の特権が剥奪されるなか、路頭に迷った彼らは政府に対して捨て身の抵抗をし、最期まで「武士」の精神を貫き通したのだ。

しかしその一方で、士族である小幡は武器を取らず、農具を選択した。彼は自ら土地を耕し、実るか実らないか期待と不安まじりのなか、夏みかんという果実に自らの人生をかけるとともに、萩のまちの運命をも託したのである。明治九年は、旧城下町、萩にとって、忘れがたい年なのだ。

近代の萩を潤した黄金の果実

小幡らが夏みかん栽培を開始した当初、周囲の大半は冷淡であった。ところが、萩には旧萩城三ノ

丸(堀内)をはじめ、平安古・河添などに広大な武家屋敷の空地があり、約十年間で爆発的に栽培面積が増える。明治二十三年(一八九〇)有栖川宮熾仁親王は萩を訪れ、小幡の造った燈畑を賞賛した。小幡はその労苦を後世に伝えるべく「燈園之記」という石碑を自邸に建てた。



「燈園之記」碑 (旧田中別邸)

その後も夏みかんは生産量を續登りに伸ばし、明治三十年代には、当時の萩町の年間予算の八倍にものぼる生産額をあげることとなる。販路は、県外はおろか国外にまでも拡大、「長州本場萩夏蜜柑」のトレードマークで、萩地域の一大産業に成長、まさに黄金の果実となった。

現在は退潮傾向とはいえ、まだまだ加工品を中心に需要がある。その意味で、夏みかんを「萩の産業遺産」というにはまだ早いかもしれず、「萩の産業文化」として今後も活用され続けることを期待したい。

【参考文献】田中助一編『本場名産萩の夏みかん』(史都萩を愛する会、一九六八年)

若者たちに伝えるために

下町の風情を残しつつ、現代美術館をはじめとするギャラリ、カフェなどが並ぶことから「アートの町」として知られる東京・清澄白河。その一角にある貸しスペース「フレミング・ハウス」を会場に、これまでにないスタイルの移住イベントが、6月15日に開かれました。

企画・演出を手掛けたのは、移住ドラフトでも実績があり、都市部から地方への移住者のパイプ役となる団体「ヤマグチのデイリグチ・山口移住計画」と、阿武町地域おこし協力隊・鍋倉旭さん。

イベントでは「移住計画」ならではの行政にはない演出の中、U・Iターンのトークと共に、萩と阿武の「となりぐらし」のあり方を参加した若者に伝えました。

トーク・ゲストとして、萩市から熊谷信力さん（JIBITAオーナー）、藤林真理絵さん（ツムグお台所オーナー）、阿武町から梅田将成さん（すいか農家）、吉岡風詩乃さん（阿武町暮らし支援センタースタッフ）が参加しました。



全員で記念撮影。参加者は総勢32人

北浦連携・官民連携

このイベントは、萩市と阿武町の「定住自立圏形成協定」の移住連携における初の取り組みです。これまで単独での取り組みをそれぞれ続けてきた両市町が共同で開く移住イベントは今回が初。さらに地元の山口銀行の出資もあり、まさに地域ぐるみで臨む移住イベントとなりました。

参加した「都市部」の反応

●東京に来てはじめて、「地元・山口が好き」だと気づきました。でも、東京も好きなんです。どちらも捨てたくない。だから「2拠点生活」に魅力を感じます。
（埼玉県在住・映像クリエイター）

●都会に来て感じたのは、「意外と田舎に興味がある人が多い」ということ。「ホテルを見たことがない」や、田舎だったら当たり前の「満点の星を見ることがない」という友だちも多い。魅力を上手く伝えることができれば、人は来ると思います。
（神奈川県在住・大学院生）



「先輩移住者」が、まちをPR

「阿武町は人口3300人の小さな町。だけど、自力でがんばる道を選んだ。だから移住した」と話す、鍋倉旭さん（平成29年に移住）。

萩・明倫学舎通信

萩・明倫学舎と伊能忠敬

7月20日に今年で3回目となる「令和元年 萩・明倫学舎ぞうきんがけペアレース」を開催しました。前回本紙でもお伝えしたように今年も2人1組のペアとなり、特製ぞうきんを使用しました。優勝は低・高学年ともに、長門市の小学生に奪われてしまいました。イベントは大盛況で終了し、久しぶりに小学生の元気な声と足音が帰ってきた。校舎も喜んでいようでした。



ぞうきんがけペアレース

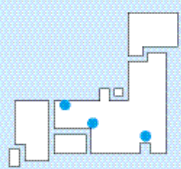
さて今回、優勝賞品として天体望遠鏡を贈呈しました。なぜ萩・明倫学舎のイベントで、天体望遠鏡を贈呈したのか、そのカギは2号館幕末ミュージアムにあります。天文の展示で、最初に目を引く「象限儀」です。これは、伊能忠敬が実際に日本地図を作成したときに使用した器具を1831年に複製したものです。



伊能忠敬の象限儀（幕末ミュージアム）

伊能忠敬（1745〜1818）は、「日本地図を最初に作った人」のイメージだと思えます。実は地図作りの原点、測量を本格的に勉強し始めたのは、幕府の天文方に入った50歳のことでした。55歳で北海道南岸の測量を皮切りに、足かけ17年、計10回に及ぶ日本全国の測量を71歳まで自分の足で行いました。ちなみに萩にも3回訪れていると聞くと驚きます。話をぞうきんがけに戻して、なぜ天体望遠鏡を優勝賞品にしたのか、もうお分かりですね。萩・明倫学舎には伊能忠敬の展示があることを知ってほしかった、という点と、伊能忠敬の人生を通じて何か感じてほしいという2点です。彼のように、50歳からでも年齢は関係なく、好きという好奇心を突き詰めると大きな飛躍が待っているかもしれないという気持ちを優勝賞品に乗せて、お渡ししました。

■NPO 萩明倫学舎
（08388・21・0304）



情報
ください
!

「クラス会をいつ、どこで開催します」という情報をお寄せください。萩の資料送ります。投稿記事も歓迎します。
hagi-network@city.hagi.lg.jp

会員投稿 6月10日 萩グランドホテル(萩市)

椿西小学校(昭和26年度卒)同期会



この同期会は毎年実行中です。恩師横山繁先生(5年6年担任)も93歳でご健在です。(前列中央が横山先生ご夫婦)

今年も出席頂きました。特に今年は横山先生の絵画展が萩市民館で開催され、そのお祝いも兼ねてまた一つ楽しい会になりました。出席者は傘寿を超えた人もボツボツあり、夫婦で同席を含めて15名の祝宴は楽しい2時間でした。

岩田会長はじめ萩在住の皆さんが、毎年この同期会に趣向を凝らして準備をして頂き感謝で一杯です。来年も元気で再会を誓い合いました。

楊井勝利(奈良県大和郡山市)

会員投稿 4月14日 銀座・吉乃翔(東京都)

指月中8期(昭和30年)卒業生関東地区在住者の集い



令和へ改元も迫った4月半ば、今年も指月中8期関東在住者の集いを銀座の会場で開催しました。

今年、遠路岡山在住の金澤隆城君や6年振り参加の金子(旧姓大倉)久美子さんを交え、既に傘寿を迎えた人もいる写真の11名が元気に再開を果たしました。

幹事の乾杯で始まり、近況や思い出に楽しい時を過ぎた同期一同、再会の約束を交わし、指月中校歌「花吹雪く若草の上に…」を唄って別れた会でした。

山口雄三(神奈川県横須賀市)

会員投稿 6月29日 日本橋プラザビル稲田屋(東京都)

萩高14期(昭和37年卒)東京同期会



53年ぶりに東京に行き、久しぶりの都会に戸惑いました。電車に乗るのに切符は使わずカード1枚、便利な世の中になりました。

初めて東京同期会に出席しました。友達はみな元気溼刺として、異郷にいと再会がこんなにも喜ばしく懐かしいものだと思うと胸がキュンとなりました。思えば75歳になった今では、古女房よりも、もっと古い付き合いです。故郷は遠きにありて思うもの・・・。

池永七三郎(萩市中津江)

会員投稿 6月23日 太閤園(大阪市)

やまなみかい 関西山峡会



「第31回関西山峡会総会」を、さる6月23日に大阪市都島区の太閤園で開催しました。総勢70名と過去最大の参加者で新年号にふさわしい集いとなりました。総会は、役員改選で新会長「山本孝徳氏」の開会の挨拶に始まり、ご来賓の皆様からお祝いのお言葉やふるさとの現況説明を頂きました。

第2部の懇親会は、紙切り演芸の三遊亭絵馬さんによる紙切りの横顔を映写しそっくりだねと皆を驚かせました。また参加者の内若年3人グループによる演芸は元気そのものでした、その後ふるさと方言クイズ・抽選会・カラオケなどで盛り上がり、最後にふるさとを合唱し万歳三唱と一本締めで来年の出会いを誓い合いました。

堀野 克麿(大阪府茨木市)

萩高校創立150周年 記念事業募金のお願い

明治3年（1870）萩明倫館の流れをくむ萩学校が萩中学と改称されたことに源流を発する萩高校は、来年2020年に創立150周年を迎える。

萩高校同窓会および創立150周年記念事業実行委員会（会長・委員長は野村興兒）では募金活動を始めた。

■創立150周年記念事業

記念式典2020年10月18日（日）、萩高体育館

記念講演、記念誌「萩高校百五十年史・DVDの発行、記念冊子」学統を受け継いで」の発行、明倫館から受け継いだお宝・資料の公開
萩高校への教育活動への支援など

■募金活動

目標額／1000万円
募金額／個人1口5000円、法人1口2万円

募集期間／20年12月末まで
納付方法／①事務局宛て現金送付
および持ち込み

②郵便口座振替「口座番号」
15101618122

「口座名義」萩高等学校同窓会
問い合わせ 萩高同窓会事務局
(0838・22・0076)

萩大志館「東京遊学ツアー2019」

萩市の中学生が、東京で活躍する
萩市出身OBを訪問

萩市出身の社会人で構成される一般社団法人萩大志館は、4月4日、5日の2日間、「東京遊学ツアー2019」を実施した。昨年

に続き2回目の今年は、萩市内の中学3年生7人が参加し、東京で活躍する5人のOBの職場を訪ね、OBの人生観や仕事観に耳を傾け、ふるさと萩への思いを語り合った。

1日目は、クリエイティブディレクターとして活躍するOBを訪問。不動産会社勤務のOBは、販売金額2億円の物件に遊学生を案内。夕食を準備したのは萩市出身の料理家、もりえりさん。懇親会には東京指月会の幹部や起業家らも出席して生徒たちを歓迎。世代を超えた交流が実現した。

■東京遊学ツアーとは

高校選択を人生選択の第一歩と位置づけ、高校受験を前にした中学生に、将来を考える一助にしてもらうことを目的。

生徒側の旅費負担は2000円。それ以外の費用は、萩大志館と活動に賛同するサポートメンバーの寄付金でまかなう。

□OBの声

将来は萩に誇りを持ち、愛すべき故郷として語れる大人になってほしい。

□井関隆行代表理事

萩を離れ、都会で生きることを選んだはずの大人たちが、強烈な故郷愛を隠さずに言葉にし、萩への貢献を語り実行している姿は、どこに住んでも萩を支えながら生きる「萩支民」としてのあり方を、子どもたちに示している。東京遊学ツアーの目標は5年で30人。その中からきつと萩を背負って立つ人材が出てくると信じています。



1日目懇親会でのOBとの集合写真

■萩大志館とは

民間の萩出身ビジネスマンによって設立され、萩出身者・市民のふるさと愛を資金としてお預かりし、故郷の課題解決、価値創造にダイレクトに寄与する事業に変換している。詳しくはホームページをご覧ください。

地域の皆様とともに



<http://www.shinkin.co.jp/hagi-yamaguchi/>

萩支店：萩市大字唐樋町3番地3
☎ 0838-22-3111

浜崎支店：萩市大字浜崎町253番地2
☎ 0838-22-0197

越ヶ浜支店：萩市大字椿東6392番地1
☎ 0838-25-0321

奈古支店：阿武郡阿武町奈古2311番地の13
☎ 08388-2-3028

新川支店：萩市大字椿東3072番地12
☎ 0838-22-0608

松本支店：萩市大字椿東2511番地3
☎ 0838-22-3113

橋本支店：萩市大字橋本町74番地
☎ 0838-22-3141

情報アラカルト

関東地区

ふるさと萩・小川会

田万川地域小川出身者の関東地区同郷会。

10月6日(日) 正午〜午後3時
東京都品川区大崎1・6・2 (J
R大崎駅東口から徒歩2分)

ニューオータニイン東京

(090・9673・2296)

佐伯

東京指月会

関東地区の萩高同窓会。

10月26日(土) 午後2時30分〜
東京都千代田区丸の内(東京駅丸
の内北口)

日本工業倶楽部

(03・3471・0286) 東京

指月会事務局(松本方)

つばき会関東支部

関東地区の萩商工高同窓会。

11月9日(土) 午後2時〜5時
東京都品川区大崎(大崎駅東口)

ニューオータニイン東京

(090・3141・7505) 椿

東京須佐弥富会

関東地区の須佐地域同郷会。

11月16日(土) 正午〜午後3時
東京都港区高輪(品川駅高輪口)

日立金属 高輪和彊館

勝山

柳井嗣雄展「発掘」

萩市出身の美術家、和紙造形。
「遺物」立体20点(世紀末版)と
平面20点(平成版)を同時展示。

8月22日(木)〜9月15日(日)
木曜日〜日曜日の13時〜18時

東京都国立市東4・21・10
宇フォーラム美術館

(042・580・1557)

「十三代三輪休雪襲名 雪嶺展」

十三代休雪を襲名した三輪和彦
の個展。

9月18日(水)〜24日(火)
東京都中央区日本橋2・4・1

日本橋高島屋 美術画廊

「君子勿素餐 HAGI陶五人展」

岡田泰、坂悠太、渋谷英一、田
原崇雄、坂倉止紘の展示販売。

9月18日(水)〜24日(火)
東京都中央区日本橋室町1・4・

1 日本橋三越本店 本館6階アート
スクエア

(03・3241・3311)

鎌倉市姉妹都市物産展

鎌倉市の姉妹都市交流の一環と
して、萩市、上田市、足利市の特
産品を紹介し即売会を開催します。

10月11日(金)〜12日(土)
午前9時30分〜午後4時30分(12

日は午後3時30分まで)
鎌倉市御成町18・10

鎌倉市役所第三分庁舎1階講堂

(問) 鎌倉市商工課

(0467・23・3000)

萩・世田谷暮末維新祭り「萩観光物産展」

世田谷区の松陰神社境内で開催
される萩・世田谷暮末維新祭りに
併せて開催される「萩観光物産展」

に、萩市の特産品である萩焼、地
酒、海産物、夏みかん菓子等を販
売します。「萩にゃん。」も登場。

10月26日(土)〜27日(日)
午前10時〜午後6時(27日は午後

5時30分まで)

世田谷・松陰神社入口横公園、松
陰神社通り商店街(東急世田谷線

「松陰神社前駅」下車)

(問) 萩商工会議所
(0838・25・3333)

関西地区

「十三代三輪休雪襲名 雪嶺展」

10月2日(水)〜8日(火)
京都市下京区真町52 四条通り

高島屋京都店 6階美術画廊

(075・221・8811)

10月16日(水)〜22日(火)

大阪市中央区難波5・1・5
高島屋大阪店 6階美術画廊

(06・6631・1101)
10月30日(水)〜11月5日(火)
名古屋市中村区名駅1・1・4
ジェイアール名古屋タカシマヤ

10階美術画廊
(052・566・1101)

中国地区

「納富晋作陶展」

納富晋の個展、茶道具、鑑賞品。

11月14日(木)〜20日(水)
広島市中区胡町6・26

福屋八丁堀本店 7階美術画廊

(082・246・6111)

九州地区

九州指月会

九州地区の萩高同窓会。

9月8日(日) 正午〜
福岡市博多区博多駅筑紫口すぐ

オリエンタルホテル福岡 博多ス
テーション 4階S A K U R A

(旧ホテルセントララーザ博多)
(093・201・6303) 廣瀬

つばき会九州支部

九州地区の萩商工高同窓会。今
年は下関支部と合同開催。

11月16日(土) 午後6時〜
下関市彦島西山町5・2・1

天白ひらこし(ふく菜舎)
(090・4358・2659)

竹内

山口県関係

山口指月会

山口地区の萩高同窓会。

10月18日(金) 午後6時30分〜
山口市湯田温泉 翠山荘
(0838・26・6500) 中原

ブックレットシリーズ
「萩ものがたり」

秋の新刊(10月発行)

63号「萩ジオパーク入門―萩の大
地と人の物語―」

白井孝明(萩市ジオパーク推進室
ジオパーク専門員)

定価 500円(税別)
2018年に日本ジオパークに

認定された萩ジオパーク。明治維
新胎動の地として全国にその名を

はせる萩を土台として支えている
のは、1億年間にも及ぶ3つのマ
グマの活動によってつくられた大
地であった。

64号「植音高く 笠井順八・久原
房之助」

読売新聞山口総局
定価 500円(税別)

わが国初の民間セメント会社を
起こした笠井順八と、鉱山王から
財閥のトップに上りつめ、政治家
としても存在感を發揮した久原房
之助。山陽小野田市と下松市の産
業近代化の礎を築いた、萩にゆか
りの二人の歩みをたどる。

定期購読会員を募集中!
年会費 2000円(年間4冊)

(問) 一般社団法人萩ものがたり
萩市椿東浦田5000 至誠館大
学内(10月から)

(0838・25・3233)

第1回「萩検定」開催

「ご当地検定がリニューアル

長年実施された「萩ものしり博士検定」と「萩・幕末維新検定」を廃止し、新しく「萩検定」を創設した。

特長は、自然、文化、歴史、幕末維新の4科目に分類し、1科目からでも受検できる。コースは各科目それぞれ初級、中級、上級の3コース(上級は来年度実施予定。初回特典として中級受検者の中から抽選で記念品をプレゼント)。

□初級 8月1日～11月22日の間に、スマホやパソコンなどで無料受検できる、50問択一式で45問以上の正解で合格。「萩検定」ホームページから受検できます。

□中級 初級コースの合格者を対象に、12月15日(日)、萩市総合福祉センターで実施。択一式30問記述式20問、45問以上の正解で合格。受検料は1科目につき千円、申し込みは11月27日まで。

*「萩検定公式テキストブック」も発売

定価 2000円(全800問)
購入方法 Amazon、全国の書店で注文(受注販売)。

(問) 萩市まちじゅう博物館推進課
(08388・25・3290)

つばき会下関支部

下関地区の萩商工高校の同窓会。
11月16日(土) 午後6時～
下関市彦島西山町5・2・1
天白ひらこし(ふく楽舎)
(090・4652・5028) 原

萩市関係

■萩商工高校同窓会つばき会

萩商工高つばき会の本部総会。

10月12日(土) 午後6時～

会費3000円(弁当代、福引代含む)

萩市平安古町544

萩商工高校体育館

(08388・22・0034)

■「恒久破壊―十三代三輪休雪(三輪和彦)の陶造形」展

十三代休雪を襲名した三輪和彦のスケールの大きな陶の造形作品の展示。

7月9日(火)～11月17日(日)

萩市平安古586・1

山内県立萩美術館・浦上記念館
陶芸館展示室

(08388・24・2400)

■熊谷美術館 伝統から現代、未来へ「雪舟と山本浩二」「古萩

今萩 新萩

熊谷五右衛門生誕300年を記念し、熊谷家と交流のあった坂高麗左衛門歴代と萩焼の未来を担う陶芸家・岡田泰、兼田知明、坂悠太、坂倉正統、渋谷英一、新庄紹弘、田原崇雄、玉村信一の作品を

展示。画家・雪舟とミラノで活躍する現代抽象画家・山本浩二の対比により、未来の美のあり方を志向する。併せて現代陶芸作家・濱中月村の作品を特別招待。
9月1日(日)～11月24日(日)
萩市今魚店町47
熊谷美術館
(08388・22・7547)

■須佐歴史民俗資料館企画展

「旦那様がやってきた」益田から須佐へ 近世益田家の暮開け

関ヶ原の戦いで毛利氏に加勢した益田氏は、長年の拠点・益田を離れ須佐へ移封となった。
9月7日(土)～11月24日(日)
萩市須佐444・1・10
須佐歴史民俗資料館「みこと館」
(08387・6・3916)

■「コンコード・ジャズ・フェスティバル」

ジャズサクソフの巨匠、スコット・ハミルトン・カルテットが来日。日本ジャズ界のレジエント、北村英治も参加し、日米巨匠の夢の共演が実現。
11月2日(土) 午後6時30分～
阿武町町民センター文化ホール
料金 5000円(500席全席指定)

(問) 喫茶ウィレッジ

(08388・25・6596)

編集後記

9月30日をもって、広報特別参与を退きます。それに伴い、萩ネットワークの事務局・編集担当を退任することになりました。萩ネットワークは1994年、ふるさと情報紙として創刊し、ふるさと萩の情報をお届けしてきました。

私が担当したのは1998年5月号(21号)からこの2019年9月号(149号)までの20年間(萩博物館長就任の2年間を除く)。その間、各地の同窓会・同郷会などで多くの方々にお世話になりました。この場をお借りして、厚くお礼申し上げます
(広報特別参与 山本章三)

出版情報

■「萩は夜を愉しむ」

山口県飲食業生活衛生同業組合萩支部(河村剛太郎支部長)が、ナイトスポットマップの第2弾「萩は夜を愉しむ」を発行。

第1弾より7店舗増え、全52店舗のشناック、ラウンジ、バーなどを紹介。萩市内のホテルや旅館観光協会で配布。

第1弾の「萩の夜を愉しむ」は本紙18年11月号～19年5月号に4回シリーズとして連載。

お知らせ

■やまぐちY・Y・ターニカレッジ

長きにわたり、この萩ネットワークに携わっていただいた山本章三さんが、本年9月末で、広報特別参与職を退職されます。これまでのご功績、ご労苦に対し、敬意と感謝の意を表します。大変、お疲れ様でした。
次号から、新たな体制により萩ネットワークを作成し、萩を愛する皆様にご協力と萩の情報をお届けいたします。今後ともご愛読くださいますよう、よろしくお願いたします。
(萩ネットワーク協会会長 藤道健二)

ふるさと情報紙「萩ネットワーク」

萩ネットワーク協会 ☎0838・25・3178

全国のネットワーク会員に、年4回隔月で郵送
令和元年度発行 5・7・9・1月号(1994年10月創刊)
会費 一般2,000円、特別賛助10,000円
会員数 1,535人(2019年7月末現在)

発行回数を年4回に変更しました。

9月号以降は1月・4月・7月・10月

萩博物館だより

☎0838・25・6447

「萩の鉄道物語り」 9月14日(土)～10月20日(日)

日本の鉄道の父、時刻表の父、世界的鉄道車輛製造会社の創業者、全国的に知られた鉄道遺産、鉄道がもたらした観光ブームなど、萩の鉄道にかかわる物語りを紹介します。

■観覧料 大人 510円、高・大学生 310円、小・中学生 100円

■休館日 会期中なし



山陰本線を走る列車

創建 300 年記念特別展

「長州藩校明倫館—武士たちの学び舎—」

11月9日(土)～20年1月5日(日)

山口県立萩美術館・浦上記念館だより

☎0838・24・2400

平木コレクション「にゃんとも猫だらけ」

9月14日(土)～11月17日(日)

浮世絵版画に描かれた猫たちを、近年の猫美術展ブームの火付け役である平木コレクションにより紹介。2015年にニューヨークでも開催され大好評を博した展覧会が、出品点数を増やした拡大版で萩にやってきます。

*10月15日(火)～17日は(木)は展示替え

■観覧料 一般1000円、70歳以上の方・学生800円、18歳以下は無料



豊原国周「東けい三十六会席柳ばしそめ」

「現在形の陶芸 萩大賞展V」

11月23日(土・祝)～20年1月13日(月・祝)

写真／下瀬信雄「萩市三角州」(部分)

山口県立美術館の下瀬信雄展「天地結界」(5/23～7/7)で展示された約2.2m×約6.6mの大作「萩市三角州」(2017年)は、萩市に寄贈され、今年7月完成した新しい萩市総合福祉センター(江向)に、タイトル「夏の思い出」として設置される予定です。

郵便局のみまもりサービス

○ みまもり訪問サービス

郵便局社員等(弊社が委託した者を含みます。)が、月1回、ご利用者宅などを訪問し、会話を通じてご利用者の生活状況を確認し、ご指定の報告先に電子メール(PDFファイル)でご報告します。

- ・確認項目は10項目(7項目+選べる3項目)
- ・報告先は最大3名
- ・サービス料金：2,500円/月(税抜)



○ みまもりでんわサービス

毎日、ご指定の電話番号へ、電話をお掛けし、自動音声に対する回答をご指定の報告先に電子メールでご報告します。

- ・「本日の体調はいかがですか」という自動音声の流れます。
- ・回答選択肢は「元気です」、「いつも通りです」、「元気がありません」
- ・報告先は最大4名
- ・固定電話コース：980円/月(税抜)
- ・携帯電話コース：1,180円/月(税抜)



お申込み等、詳細は萩郵便局(総務部)まで!

電話 0838-22-0681